

# 行政視察等報告書

平成30年12月3日

境港市議会  
議長 柗 康 弘 様

会派名 無所属

代表者 景 山

憲



下記のとおり行政視察（調査・研修）を行ったので、その結果を報告します。

## 記

1 視察等期間	平成30年11月20日～11月21日
2 視察等先 及び内容	○平成30年11月21日（木） △視 察 先 石川県輪島市・七尾市のそれぞれ施設を視察 ・輪島キリコ会館、輪島朝市、道の駅能登食彩 市場、花嫁のれん館、のと里山里海ミュージ アム △主 催 者 境港市産地協議会 ・境港水産振興協会会長他12名参加の視察団 △視 察 内 容 伝統ある「輪島朝市」をメインに、水産物を中心に展開されている「道の駅能登食彩市場」を視察 △視察の目的 本市の特性である水産業の振興を図るため、他地域の特性や現況、また今後の展開。いかに来訪者の増加を図っているのかの調査・研究の為。
3 視察等議員	景 山 憲
4 総 経 費	合計（1名）15,000円 1人当たり 15,000円） ※一人当たり経費に端数が出る場合は円未満切り捨て
所 見 等	別紙のとおり

## ○視察にあたって

この視察は、境港市産地協議会の視察に参加をしたものである。本市の伝統ある地場産業である水産業の振興には、これまで以上に多角的業態の形成を図っていくことが求められていると考えている。こうした観点にたって「輪島の朝市」、「道の駅能登食彩市場」の業態は参考として研究するに価するものであった。

## △視察の概略、特に2事業について

### ①輪島の朝市について

輪島朝市は、伝統ある「朝市」としてすでに知られたものである。今日では、海岸近くに朝市のために整備された道路約800メートルにかけて、毎朝個人の出店が並び、魚介類、野菜、輪島塗（主に、箸）等が並べてられていた。当日は、平日であった為か「道路にぎっしりお客」というほどでは無かったが、多くの観光客が見られた。各店は、「高齢のおばあちゃん」の店番が多く伝統を感じたところであった。

この朝市も高齢化と同時に、以前に比較して、テントの数、店も減少してきたことを伺った。しかし、港、道路、近くの輪島キリコ伝承館などの整備と連携し、伝統として継承される努力が続けられている。

本市でも「朝市」などの研究はされてきたところであると考えますが、本市らしい（水産物の直接販売）切り口での新展開の一つとして研究し、具体化に向けた検討を進めることが必要と考える。

### ②七尾フィッシャーマンズ・ワーフ 「道の駅能登食彩市場」について

この施設は、当初石川県、七尾市他自治体、金融機関他民間からの出資によって設立され、株式会社香島津が運営しているものである。地域交流拠点、憩いの場づくり、地元振興、能登観光の名所づくりをコンセプトに、能登生鮮市場、能登グルメ館を運営している。

平成3年度からの営業であり、初年度には529千人の来場、マックス917千人の来場者があったが、平成29年度には748千人となっている。現在では、来場者の増減はあるが、750千人で推移している。

この施設は、海に面した埋め立て地に建った物で、公園の整備と合いました物であり観光客の評判は良いとのことであった。

## ○所見

魚など海鮮物を中心とした飲食と物販の施設については、本市でもこれまでに、全国の賑わいなどについて調査研究もされてきたものと考えている。

これまでも、下関のフィッシャーマンズ・ワーフ、今回の七尾フィッシャーマンズ・ワーフなどの施設について、調査研究されてきたところであるが、本市の漁港の再整備事業が進展していく現在、これらの具体化に向けて官民共同で早期に検討を進める時期にあると強く感じたところである。

以上報告します。